



SMARTBASE

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 分解してはいけないことを示す記号です。
- 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- 触れてはいけないことを示す記号です。

警告

- ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
- 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
- 付属品のACアダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
- 船舶などの直流（DC）電源には接続しない。火災の原因になります。
- 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
- 雷が鳴りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きにしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

注意

- 濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。
- 長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。
- ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。
- ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

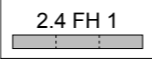
電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。



- Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- 「Qi」は、Wireless Power Consortiumの登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporatedは、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBLは米国およびその他の国々におけるHarman International Industries, Incorporatedの登録商標です。

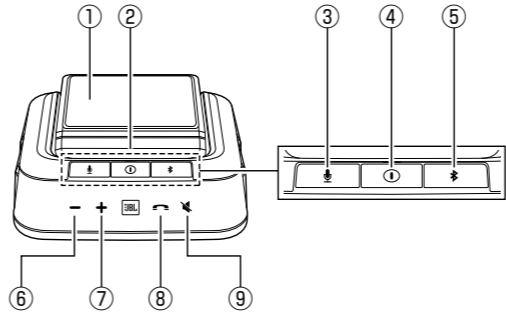
付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- ACアダプタ
- シガーソケットアダプタ
- パッド保護用シリコンカバー
- 六角レンチ
- 日本語取扱説明書（本紙）
- 多言語取扱説明書
- 保証書（日本国内用）

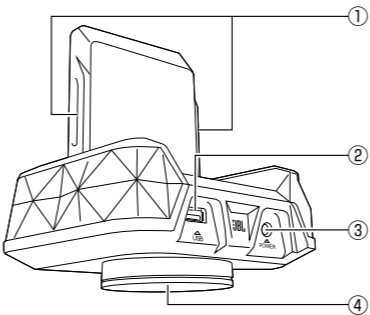
各部の名称とはたらき

▶ 前面 / 上面



- ① パッド Qi（チー）対応のSMARTBASEの場合、Qi対応スマートホンのワイヤレス充電ができます。ご使用前に、保護シートを取り外してください。
- ② RELEASE / LOCK（リリース / ロック）ボタン 押すとパッドが起き上がります。パッドをたたむときは、このボタンを押しながらパッドを押し込みます。
- ③ 音声アシスタントボタン（🗣️）
- ④ 電源ボタン（🔌） 電源を入れる / 切るたびに電子音が鳴ります。電源が入っているときは、青色で点灯します。
- ⑤ Bluetoothボタン（📶）
- ⑥ 音量-ボタン
- ⑦ 音量+ボタン
- ⑧ ハンズフリーボタン（📞）
- ⑨ 音声ミュートボタン（🔇）

▶ 背面 / 底面



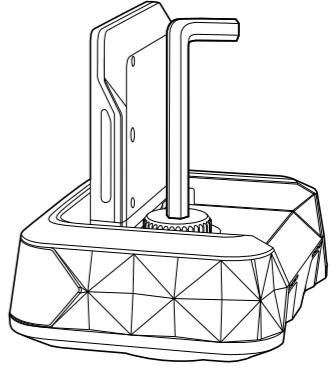
- ① 高さ調節ボタン パッドの両側のボタンを押しながらパッドの高さを調節することができます。
- ② USB端子
- ③ POWER（電源）端子
- ④ 吸盤

設置する

▶ 吸盤の角度を調節する

本機を設置する場所（車のダッシュボード、室内の机上など）に応じて、あらかじめ底面の吸盤の角度を調節しておきます。パッドにスマートホンを着装したときに画面が見やすくなる角度も考慮に入れてください。

- ① 本機のパッドを起こす。 RELEASE / LOCK（リリース / ロック）ボタンを押してください。
- ② 吸盤の締めをゆるめる。 六角レンチを六角穴に差し込み、左に回します。



- ③ 吸盤を希望の角度に調節し、固定する。 六角レンチを右に回して締めなおしてください。

▶ 設置する

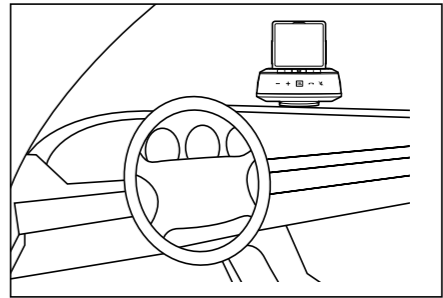
吸盤の保護シートをはがして、希望の場所に設置します。

ご注意

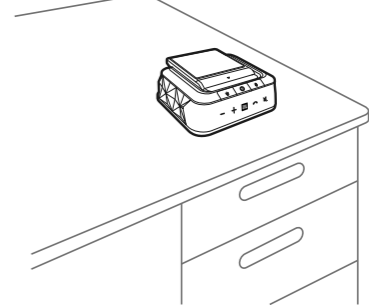
本機背面の端子が使えるよう、十分なスペースを空けておいてください。

設置例

[車のダッシュボード上]



[机などの上]



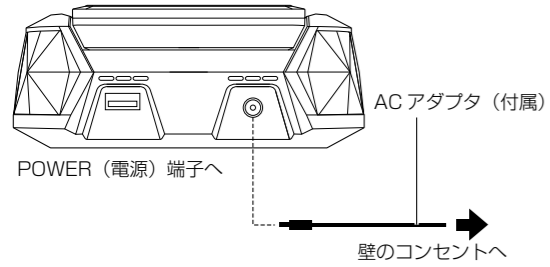
電源と接続する

本機は、AC 電源（壁のコンセント）または DC 電源（車のシガーソケット）に接続してお使いいただけます。

▶ 壁のコンセントに接続する

付属の AC アダプタを使用します。

- ① 付属の AC アダプタを本機の POWER（電源）端子に接続する。
- ② AC アダプタを壁のコンセントに接続する。

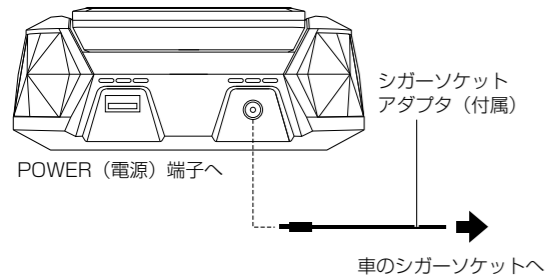


本機は国内の電圧にのみ対応しています。海外ではお使いいただけません。

▶ 車のシガーソケットに接続する

付属のシガーソケットアダプタを使用します。

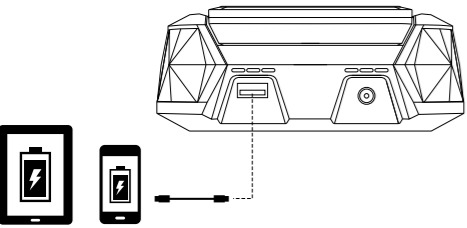
- ① 付属のシガーソケットアダプタを本機の POWER(電源)端子に接続する。
- ② シガーソケットアダプタを車のシガーソケットに接続する。



スマートフォンなどを充電する

スマートフォンなどに市販の USB ケーブルを使用して、スマートフォンなどを本機の USB 端子に接続します。

本機の電源を入れると、充電が始まります。

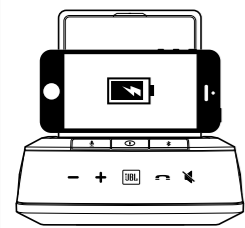


充電の状態については、スマートフォン側で随時確認してください。

Qi（チー）対応の SMARTBASE の場合、Qi に対応しているスマートフォンやタブレットなどは、本機のパッドに装着する（載せる）だけでワイヤレス充電することができます。

充電するときは、本機の電源を入れてください。

パッドを起こした状態での充電例



- パッドの中央に装着して（載せて）ください。
- スマートホンケースなどを付けている場合は充電できないことがあります。
- 本製品は Qi 規格に準拠していますが、すべての Qi 対応機器の充電ができることを保証するものではありません。

Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電源ボタン (Ⓚ) を押して本機の電源を入れる。
- ② 電子音が鳴るまで Bluetooth ボタン (📶) を長押しする。
ペアリング設定状態になり、Bluetooth ボタン (📶) が点滅します。
- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- ④ 機器の一覧から「JBL Smartbase」を選択する。
デバイスに「接続済み」と表示され、本機で電子音が鳴るとペアリングが完了します。
ペアリングが完了すると、本機の Bluetooth ボタンが点灯します。



携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。（パスキーが必要な場合は「0000」と入力する。）
ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー（HFP）」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ（A2DP）」で接続してください。
 - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。

その他のデバイス（携帯電話・スマートホンなど）の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。（パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。）
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
Bluetooth ボタンが青く点灯すると、ペアリングは完了です。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと、接続したデバイスで再生を始めます。

- 再生の手順については、接続するデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。

- 本機のハンズフリーボタン (📞) を押して再生を一時停止 / 再開することができます（一部対応していないデバイスがあります）。

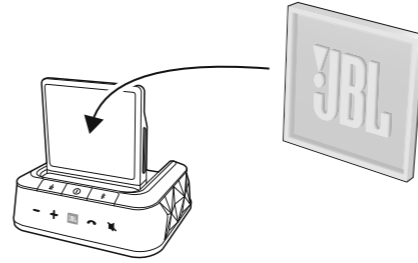
▶ Bluetooth 接続を解除する

iPhone/iPod/iPad で解除する

デバイス側で Bluetooth を「オフ」にし、接続を解除します。
あるいは、デバイス側で「JBL Smartbase」の接続登録を解除してください。

パッドを保護する

しばらく本機を使用しないときは、付属のパッド保護用シリコンカバーをパッド面に取り付けてください。



ハンズフリー通話を行う

本機のハンズフリーボタン (📞) でスマートホン・携帯電話の操作を行うことができます。

スマートホンとハンズフリー接続されている場合、着信があると本機で着信音が鳴ります。

着信音を停止したい場合は、音声アシスタントボタン (🗣️) を押してください。

状態	ハンズフリーボタンの操作	
	1 回押す	押し続ける
着信しているとき	電話を受けます。	着信拒否します。
通話中	電話を切ります。	本機から電話に通話を切り替えます。
通話中に別の着信があったとき	現在通話している電話を保留にし、着信している電話を受けます。	着信している電話を着信拒否します。
どちらの電話も着信 / 通話中の場合	両方の電話を切りま	押し続けるごとに通話を切り替えます。

※機種により、一部の機能を使えない場合があります。
※携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

▶ Siri、Google Now を起動する

音声エージェントアプリに対応したデバイスが Bluetooth 接続されているときに、音声アシスタントボタン (🗣️) を押すと、Siri または Google Now を起動させることができます。

- 車に設置して使用しているときは、本機は車を停車させてから操作してください。

トラブルシューティング

症状	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が壁のコンセントまたは車のシガーソケットに接続されているかご確認ください。
本機のパッドに載せても、スマートフォンなどのデバイスを充電できない。	スマートフォンなどのデバイスが Qi（チー）に対応しているかご確認ください。 デバイスにケースを付けたままでは充電できない場合は、ケースを外してください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 デバイス側の音量をご確認ください。 デバイス側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がり過ぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

出力	5W x 2
使用ユニット	33mm x 2
周波数特性	100Hz - 18kHz
S/N 比	80dB 以上
Bluetooth	バージョン：Bluetooth4.1
対応プロファイル	A2DP V1.3、AVRCP V1.5、HFP V1.6
Bluetooth 伝送範囲	通信距離約 10m（障害がない場合）
サイズ	幅 144mm x 高さ 67mm x 奥行き 131mm
質量	580g

ご注意

外表の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club（ハーマンオーナーズクラブ）は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話（フィーチャーホン）からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ 製品に関するお問い合わせ

Tel：0570-550-465（ナビダイヤル）

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30～17:30



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2017 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

11172000